

多品目野菜の周年作付体系による収益力の向上

やちよまち
【茨城県八千代町】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 畑地かんがい施設の整備を通じた用水の安定確保によって、**露地・施設野菜の複合経営が実現し、多品目周年作付体系を確立**。
- 加工・業務用野菜の需要に対応することで、**全国規模での契約栽培を展開**し、安定した販路を確保。
- 先駆的な農家の経営をモデルに担い手の数も増加している。

区画整理や畑地かんがい施設の導入による計画的な生産体制の確立

- 区画整理等の基盤整備により、大型機械の導入が可能となり、作業効率が大幅に上昇。さらに、畑地かんがい施設をの整備により**天候に左右されない計画的な生産**が実現。



基盤整備
(S59年～H18年)

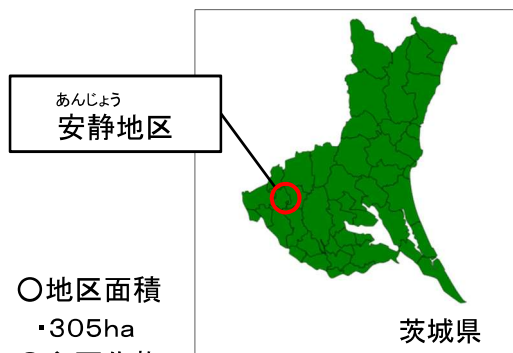
【整備前】

狭小かつ不整形なほ場であったため、農作業に多大な労力を要していた。また、用排水路も未整備であったため、**豪雨時には農地が頻繁に湛水**するなど、天候による不安定な営農を余儀なくされていた。



【取組地域の概要】

- 位置 ゆうき やちよ
茨城県 結城郡八千代町



- 地区面積
・305ha
- 主要作物
・ハクサイ、レタス、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ など
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(S55～H20)
・県営かんがい排水事業(H5～H31)
・畑地帯総合整備事業(S59～H18)

畑地かんがいによる周年作付体系の実現

- 安定した用水確保により、白菜やレタスなど、**多品目の高収益作物の導入及び周年作付体系を確立(耕地利用率162%)**。



加工・業務用野菜による販路の拡大

- 農協系統に加え、**加工・業務用野菜の需要に対応**することで、**食品メーカー等との契約販売先を全国各地に展開**し、安定した販路を確保。

担い手の育成と経営規模の拡大

- 先駆的な担い手の経営がモデルとなり、担い手数が4倍に増加するとともに、平均経営面積も約4倍に拡大。

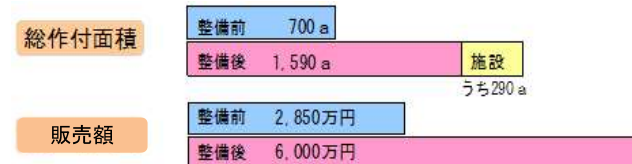


露地・施設野菜の複合経営の導入により高収益な周年作付けを確立

- 畑地かんがい施設の整備に伴う、多品目の露地・施設野菜の導入及び**周年作付け体系の確立**によって、年間を通じた収入を確保。
- 収益性の高い品目の積極的な導入や作業の効率化による経営面積の拡大、周年作付けによる**耕地利用率の向上**により、**販売額が約2.1倍に拡大**。



【地区担い手における作付面積と販売額との変化】



※ 経営規模拡大で販売額が約2.1倍に増加

【出典: 八千代町・安静地区の農家事例: 営農実態調査より】